

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 令和元年度第2回総会 次第

日時：令和元年8月27日（火）9：00～
場所：JA福島ビル9階91会議室

1．開 会

2．あいさつ

3．議長選出

4．議 題
議案第1号 令和元年度産地交付金県域単価（飼料用米一般品種）
の変更(案)について

5．閉 会

資料一覧

次第

資料一覧

議案第 1 号 令和元年度産地交付金県域単価（飼料用米一般品種）の変更(案)

令和元年度産地交付金県域単価（飼料用米一般品種）の変更（案）

1．変更の理由

令和元年産米の全国的作付動向は、主食用米作付面積はほぼ前年並みと見込まれる。一方、備蓄米は増加しているものの、飼料用米、加工用米は対前年で減少傾向にある県の数が増加、このため需要に応じた生産・販売に向け、もう一步の推進が必要な状況。

農林水産省は、この状況を受け、飼料用米等の取り組み計画の追加・変更受付を8月末まで延長、備蓄米入札を8月末まで延長、するとともに、産地交付金の留保財源を前倒しで解除する対策を講じてきた。

福島県においても、備蓄米面積は1,600ha程度増加しているものの、飼料用米は700ha程度減少、このため主食用米の減少が備蓄米の増加に見合ったものとはなっていない。

以上から、前倒しで解除された産地交付金の県域財源を活用し、前年産から大きく減少している飼料用米（一般品種）への誘導を推進するため、産地交付金単価を増額変更する。

2．変更の内容

単位：円／10a、ha

取り組み	交付単価(上限単価)		面積		
	当初	変更後	当初計画	現状	変更計画
飼料用米(一般品種)低コスト生産	9,000	9,500	2,500	2,755	3,000

以上

< 添付資料 >

令和元年産作付意向の推移

福島県令和元年産制度別・用途別作付見込み（元年7月末時点）

(参考) 令和元年産作付意向の推移

区分	増加傾向			前年並傾向			減少傾向		
	6月	4月	2月	6月	4月	2月	6月	4月	2月
主食用米	0	0	1	32	32	40	15	15	6
備蓄米	31	30	20	1	1	4	0	1	6
加工用米	14	12	15	5	13	16	25	18	12
飼料用米	7	6	12	2	11	21	36	28	12
WCS	18	11	10	13	15	24	12	17	9
米粉用米	25	18	13	1	8	21	19	18	10
輸出米等	22	23	23	2	9	12	12	4	1
麦	18	16	14	16	18	26	12	12	6
大豆	12	11	9	12	14	26	21	20	10

注)「麦」「大豆」については、二毛作面積を含む。

福島県令和元年産制度別・用途別作付見込み(元年7月末時点)

		単位:ha						
年産		30年産		元年産				
項目		計画	実績	計画	見込み	計画対比	30年実績対比	試算
		①	②	③	④	⑤=④-③	⑥=④-②	⑥
当初計画(福島県のシェア面積)	A	61,200	61,200	59,700	59,700	0	▲1,500	59,700
目安面積	B	59,300	59,300	59,700	59,700	0	400	59,700
主食用作付面積	C	59,300	61,199	59,700	60,524	824	▲675	59,399
目安面積との差	D	0	1,899	0	824	824	▲1,075	▲301
非主食用米	E=SUM(①:⑥)	12,100	10,003	12,130	10,947	▲1,183	944	12,072
	①飼料用米	6,800	5,275	5,500	4,618	▲882	▲657	5,500
	②備蓄米	3,800	3,170	5,000	4,757	▲243	1,587	5,000
	③加工用米	320	439	450	446	▲4	7	446
	④WCS	1,100	1,052	1,000	1,024	24	▲28	1,024
	⑤輸出米	0	38	50	63	13	25	63
	⑥その他	80	29	130	39	▲91	10	39
全水稻作付面積	F	71,400	71,202	71,830	71,471	▲359	269	71,471

注) 試算()は、飼料用米・備蓄米が当初計画()どおりの面積となった場合の想定される姿。